

科目名		音楽基礎 2							年度	2025	
英語科目名		Basic Theory of Music 2							学期	後期	
学科・学年		音響芸術科 1 年次		必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		野瀬 充弘			教員の実務経験		12年	実務経験の職種		音楽クリエイター	
【科目の目的】											
音楽エンタテインメント業界に携わる人間にとって、音楽の学術的な側面・音楽の基礎理論を知る事は、仕事の質を向上させられるだけでなく、人間として・文化人としての教養という観点から見ても大切な要素であり、本科目において、その基礎部分を学んでいく。											
【科目の概要】											
音楽・音響の仕事についた時、そして職種によってはその採用試験対策として必要な音楽の基礎知識およびコミュニケーションツールとしての譜面を理解できるようになること。譜面に関する知識を習得し、それらを読み使うことができること。楽典的知識および音楽用語、楽器に関する知識、音楽ジャンルとその特徴や歴史的背景を知ることなど多岐にわたる。座学的な内容に半実習的な部分を織り交ぜながら習得していく。											
【到達目標】											
A、ダイアトニックコードとディグリーコードについての理解。 B、音楽におけるカデンツ（ケーデンス）についての理解。 C、各種の楽器に関する知識を習得する。 D、各種の音楽ジャンルを把握し理解する。 E、各種音楽の歴史とテクノロジーによる変化を把握し理解する。											
【授業の注意点】											
毎授業のテーマに沿って説明・実演しながら板書。各自わかりやすいようにノートをとってもらう。譜面に関する知識習得や慣れを目的としてヒアリングやリーディングの実習的取り組みも行っていく。各学期末に試験を実施する。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力						
到達目標 A	ディグリーコードにおける機能を理解している。	ディグリーコードの必要性を理解している。	各調のダイアトニックコードとディグリーコードを把握できる。	ダイアトニックコードとディグリーコードの違いを理解している。	ダイアトニックコード、ディグリーコードともによくわからない。						
到達目標 B	カデンツを元に色々なコードプログレッションの可能性のあることを理解できている。	セカンダリードミナントを理解している。	近親調におけるカデンツを把握できる。	近親調の構成音を理解している。	カデンツとは何を指すのかわからない。						
到達目標 C	全ての楽器に関する知識を習得し、それぞれの歴史についても把握している。	アコースティック楽器およびオーケストラに関する知識を習得している。	エレクトリック楽器に関する知識を習得している。	いくつかの楽器名はわかるが、知らない楽器も多い。	楽器に興味がない。						
到達目標 D	音楽の各ジャンルを重層的に理解し、聴き調べている。	ClassicやJazzを含め色々な音楽を聴いたり、調べたりしている。	Rock・Pops、サブカルチャー音楽はよく聴き、調べている。	好きなジャンルの音楽は色々聴いたり調べたりする。	自分の好きな音楽以外は聴かない。						
到達目標 E	各種音楽の歴史的背景や社会的状況を理解し、把握している。	音楽が各種のテクノロジーにより色々な影響を受けていることを理解している。	時代ごとに色々な音響技術が生まれたことを理解している。	各種音楽ジャンルの歴史には興味を持っている。	音楽の歴史にも社会の変化にも興味がない。						
【教科書】											
授業ごとにレジュメ等を使用する。											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】											

期末試験と課題内容によって評価する。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		音楽基礎 2				年度	2025
英語表記		Basic Theory of Music 2				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	イントロダクション	前期の復習と確認（小テスト）		試験内容解説	試験内容をリマインドし確認する		
				前期の確認	前期の項目を確認する		
2	インターバル・コード・調性についての再確認	前期の学習内容のリマインド		コード	実際の音楽作品を題材に理解する		
				調性	実際の音楽作品を題材に理解する		
3	コードに対する考え方①	ダイアトニックコードとディグリー標記について理解する		ダイアトニックコード	ダイアトニックコードを理解する		
				ディグリーコード	ディグリーコードを理解する		
4	コードに対する考え方②	コードの機能とカデンツ（ケーデンス）について理解する		コードの機能	各コードの機能について理解する		
				カデンツ	カデンツとは何かを理解する		
5	楽曲におけるコードプログレッション①	部分転調という概念を理解する		転調における調性について	近親調とその構成音について理解する		
				セカンダリードミナントについて	セカンダリードミナントの使用方法を理解する		
6	楽曲におけるコードプログレッション②	近親調におけるダイアトニックコード		スケール音と近親調	主調と近親調の関係を理解する		
				近親調のダイアトニックコード	ⅡⅤ等、他のスケールにおいてカデンツを形成する		
7	楽曲におけるコードプログレッション③	モーダルインターチェンジ他のテクニク		モーダルインターチェンジを理解する	モーダルインターチェンジの基本を理解する		
				楽曲における実例	色々なコードプログレッション例を理解する		
8	楽器について①	アコースティック楽器について理解する		アコースティック楽器とは	アコースティック楽器について理解する		
				色々な楽器について	各種の楽器についての知識を得る		
				オーケストラ編成について	オーケストラについて理解する		
9	楽器について②	エレクトリック楽器について理解する		電気について	電気の発見と利用への歴史的概観を理解する		
				EG、EB、EP、synth	各楽器の音や構造を理解する		
				各楽器の歴史の変遷	各種楽器の生い立ちと歴史を理解する		
10	音楽のジャンルと作品分析①	Classicの歴史と作品を知る		Classic音楽とは	Classic音楽とされるものを理解する		
				Classicの歴史	Classic音楽の歴史を知る		
				Classicの作曲家と作品	Classicの各作曲家と作品について理解する		
11	音楽のジャンルと作品分析②	Jazzの歴史と作品を知る		Jazz音楽とは	Jazz音楽とされるものを理解する		
				Jazzの歴史	Jazz音楽の歴史を知る		
				Jazzの作曲家と作品	Jazzの各作曲家と作品について理解する		
12	音楽のジャンルと作品分析③	Rockの歴史と作品を知る		Rock音楽とは	Rock音楽とされるものを理解する		
				Rockの歴史	Rock音楽の歴史を知る		
				Rockの作曲家と作品	Rockの各ジャンルと作品について理解する		
13	日本の商業音楽について	日本の商業音楽について、その歴史と変遷を知る		日本の商業音楽について	色々な社会状況と日本の音楽の関係を理解する		
				日本の音楽の歴史	黎明期から現在までの歴史を理解する		
				日本の音楽の変遷	各時代における変遷を理解する		
14	音響技術の変遷と音楽の歴史	技術革新と音楽との関係を理解する		レコード、ラジオ、テープと音楽	それぞれと音楽との関係を理解する		
				CD、MD、MP3と音楽	各技術と音楽との関係を理解する		
				インターネットと音楽	インターネットと音楽との関係を考察する		
15	復習確認と試験説明	総合的な復習と期末試験準備		後期の確認	後期の内容を確認する		
				試験説明	期末試験の出題方法を説明する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						